

NEW

# 御堂筋

CITY PAPER

昭和45年10月5日創刊

株式会社ファッションビジネス  
発行・編集 深堀正晶  
〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目9番24号  
Studio南船場801号  
TEL:06-6260-0071 FAX:06-6260-0037  
http://mido-suji.com  
E-mail: voice@mido-suji.com

掲載記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

## 目次

- ◆ 言の葉、音と楽
- ◆ なにわ人物誌 千利休
- ◆ 大阪文化再発見
- ◆ 美しく 力強く 生きる

御堂筋の元気な...



撮影場所 大阪市北区・与力町公園  
撮影日 平成20年5月17日  
ポーズリーグ 大阪北 小学部 部員募集中!

## 言の葉、音と楽

ライフリング・パルセイション

Lifing Pulsation

Vol. 5

ある集団や社会において、歴史的に形成、蓄積され、世代を超えて受け継がれた精神的、文化的遺産や慣習を伝統と言おう。何十年、何百年、時には何世紀という気の遠くなるような時空を越えて・・・今、此処に在るモノ。現在、触れることができる。言う事は、時々のヒトにより「伝わり統べる」そしてヒトの思いを積み上げて「残す価値」があったという証拠です。

何か時代を越えて残って行く時、具体的な物や形とは、何となく、何かを説明し、伝える良質の言語は必要不可欠です。言葉や文字は、誰かに何かを伝えたいと言ふ真剣なヒトの思いから発達し、多種多様の展開を経て、現在に至っています。

ヒトは、頭の中を整理するために言葉を使います。自分に話しかけ、考えをまとめ、確かめる。言葉に出さない事は、案外、本音では解っていない事が多いから不思議です。言葉にならなかった瞬間に、自分のウソに気付いてしまう経験は誰もが持っている事。チョットチガウなあ・・・という齟齬感。この辺りをいい加減にしておくと、後でひどい目に遭ってしまうので、出来るだけスッキリと納得出来るまで考えるよう心懸け、ドウシも判らない事は・・・ワカラナイと敗北宣言をするようにしています。

グレイの領域に浸っている時、何時しか心根がボンヤリとしてしまい、段々に腐っていく。言葉はヒトのココロの風通しを良くします。当を得た言の葉は、心に積もった幾重もの塵芥を一気に吹き払う。言い得て妙・・・的を射た妙なる言の葉がヒトに降る時、気持ちは軽くと素直に落ちてきます。例えば、どんなに闇が深くても、暗いという事さえ分かっているならば、ローソクぐらいは用意できまっす。腹を据え、待つ事も出来る。

真の闇は、深い方がよい。透き通った闇の中で、ヒトは、眠る事も出来る。光の残る闇は、ボヤリと心地よく、心地进行。ヒトを誘い、ココロが悪く、心の闇は、深い方がよい。透き通った闇に従い、始めるから

ヒトの心が何かを感じ動き始める時、自分の内からホントの言葉が、一つ一つと零れ落ち、輝きはじめる。ヒカリは何処か他所にあるのではなく、ヒトのココロの奥底の真白き闇から生まれ、真っ直ぐに育ち、外の光と手を結び、陽の当たる場所にイノチを繋ぐ。真の闇を、美しく優雅に戦い生き残ったモノが極彩色の透明なヒカリを帯びる。中途半端ではない、ヒトの確かな思いが幾つも積み重なり、時代の淘汰をくぐり抜け、伝わり伝え、続べられて・・・今に届く。当然、以前に価値のあったモノが、今もその俤に価値があるとは限りません。社会環境が変わり、ヒトのココロも多少は移り変わるのだから、当たり前、携わり、関わったヒトの気持ちは付け加えられていく。そして残る。



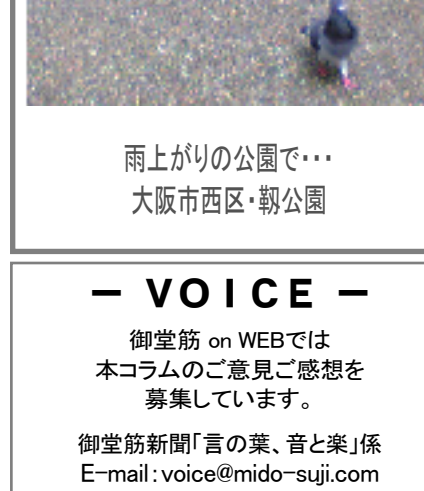
大阪市北区・バラの小径

MIDOSUJI HOT SHOT

かなり古いものですが、最近、1962年のハリウッド映画「アラビアのロレンス」を見ました。ロレンスと砂漠の案内人タフアスがお互いに名乗り合うシーン。お互いに名乗り合うシーン。お互いに名乗り合うシーン。お互いに名乗り合うシーン。

今なお残され、受け継がれているモノに、どれだけヒトの思いが託されているのかを思う時、ヒトのココロを通り、透り抜けてきた「真摯な力」を思わずには居られません。ヒトがそのモノによせた灼熱の思い。伝統と言われ呼ばれるモノに、ヒトは私は何を見ているのか？時間も空間も飛び越えた、数多沢山の種類のヒトに共通した、何か変わる事が出るヒトのコトバに潜む Lifing Pulsation イノチの気配の輝きが、観る者の心を惹きつけます。ヒトは十才、二十才・・・幾つになっても人である事を忘れたくない。「私」である事を忘れないため、思い出すために、芸術と言われるモノ、映画や舞や絵画

生命ノ振動  
ソノ震源方深ケレバ  
遠ク  
長ク  
人ノ心ヲ揺ラス



雨上がりの公園で...  
大阪市西区・鞆公園

— VOICE —  
御堂筋 on WEBでは  
本コラムのご意見ご感想を  
募集しています。  
御堂筋新聞「言の葉、音と楽」係  
E-mail: voice@mido-suji.com



聴子  
扶桑社

「この本と私」  
「脳の中の水分子」  
意識が創られるとき  
中田力著

「チーズは、どこへ消えた？」  
スペンサー・ジョンソン著  
門田美鈴訳

「脳の中の水分子」  
意識が創られるとき  
中田力著  
この本の事を新聞の広告で知った時に、まず「上手いタイトルをつけたなあ」と思いました。「脳と水」という、現在「ブーム」であるキーワードをつなげ、さらに「分子」という言葉を使う事でアカデミックな印象を持たせています。本書は、原子の構造や確率論などの科学の基礎理論を用い、「脳のなりたち」の最新理論(ただし、学説としては異端である)をわかりやすく解説してあります。著者の論理展開の底流には、「世界は自己相似(フラクタル)構造である」との原則があるのか、ミクロの現象、マクロの現象と脳のなりたちを対比させており、一見複雑に見える脳の構造を直感的に理解しやすく説明しています。

あなたの”感動”を発信しませんか？  
本を読んで、感激したことや疑問に思ったこと、是非とも読んでみて欲しい！というお薦めの一冊を、御堂筋新聞にお寄せください。小説、随筆、評論、ビジネス書、古典、画集、絵本など、ジャンルは問いません。あなたの思いがストレートに表現された文章をお待ちしています。

株式会社ファッションビジネス 『御堂筋新聞』  
〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目9番24号 Studio南船場 801号  
TEL 06-6260-0071 FAX 06-6260-0037 E-mail: staff@mido-suji.com  
※内容により、掲載をお断りする場合があります。ご了承ください。